

日吉台新聞

HIYOSHIDAI
平成30年1月1日

発行

日吉台学区自治連合会
日吉台学区まちづくり協議会
発行責任者
林 堅 太 郎
編集責任者
村澤 真保呂

題字は

4丁目11-2

梶谷 清苑さん

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

疑問点や反対の声

市民センター改革案で学区自治連協議

支所統合案は住民負担大

市の実施に備え対策委設置

市民センターの機能を改革し、地域の自主管理にゆだねる大津市の計画案について12月に開いた学区自治連定例会では、市の提案に反対や疑問の声が噴出した。定例会は、今後、この問題に対応する対策委員会の設置を決め、議論を進めることにした。また、市はこの改革案の手始めに、公民館自主運営モデル事業を提案、各学区に実施可能かどうか、意向確認調査を始めた。

日吉台支所を坂本支所に統合するなどとした市民センター機能の改革案は、地域住民に大きな負担となるうえ示された市案は、実現性に程遠く、地域として到底受け入れられる計画ではない。また、市民センターから市職員がいなくなつて行政との接点が無くなる懸念

が払しょくできないほか、説明資料が一方的で情報などが圧倒的に不足しているなど、定例会では、反対、慎重意見一色となった。ただ、市は市案進行スケジュールに示す32年度中に市内36支所を10支所に統合、集約する支所統合計画は素案どおり実施するという強い姿勢を示

市・公民館自主運営モデル事業提案

学区、条件つけ説明受ける

しており、定例会では今後の事態に備え、対応策

日吉台幼稚園跡地に設置する認定こども園について12月22日、大津市の

開園スケジュール遅れる恐れ

設置法人の公募が締め切られたが、期間内に申込みをした法人は現れなかつた。

同市幼児政策課は、年明けにも今後の方針を協議するとしているが、今回、公募法人がなかったことで当初に描いた31年春の開園スケジュールは、遅れる恐れが強くなった。

こども園公募、設置法人現れず

連絡網、搜索態勢づくり完了

不明者等さがすSOSネット

認知症などによる徘徊行方不明者を搜索する「日吉台SOSネットワーク」の搜索連絡網と搜索態勢づくりが完了、12月の学区自治連定例会に報告するとともに不明者がした場合に対処するPRチラシを製作、学区全世帯に配布する。

日吉台SOSネットワークは、日吉台で行方不明者が発生した際に、自治会員であるか否かを問わず、ご家族の申請により自治会、自治連合会と各種団体のメンバーが協力し、搜索する助け合いネットワークです。

行方不明者が発生したとき、自治会員であるか否かを問わず、家族などの申請で自治会、自治連合会と学区内各種団体のメンバーが協力して捜し出す助け合いネットワーク。

行方不明者が発生した場合、自治会、自治連合会、学区内各種団体のメンバーが協力して捜し出す助け合いネットワーク。

新年のごあいさつ

発行3年目を迎えて



日吉台新聞編集長

村澤 真保呂

日吉台のみなさま、あけましておめでとうございます。「日吉台」の出来事や問題、そして活動している人々について情報を共有し、みんながよりよい町をつくっていくことができるように」という願

いをこめて発行した日吉台新聞、おかげさまで無事に三年目を迎えることができました。発行当初は不安もありましたが、多くの住民のみなさんから温かい励ましをいただき、なかには小学生からも

「記事を読んだよ」と伝えられることもあり、この新聞が日吉台の人々の生活に著々と根付きつつあることを実感しております。三日、三月、

三年」という言葉もあるように、三年目にあたる今年、日吉台新聞の継続力が試される年であると思っております。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

市は、市民センター機能改革のひとつ、公民館自主運営モデル事業を公表した。公民館、地域自治、防災など市民センターが担う4機能のうち、支所統合は32年度で実施、地域自治、公民館、防災機能も移行期間を経て35年度で地元自主運営とする改革スケジュールを描いている。

公民館自主運営モデル事業は、市民センター機能改革案の先駆事業。学区内の各種団体に公民館運営委員会（仮称）を組織してもらい、地域で事務員を雇用。雇用事務員は、週2回程度公民館に

にゆだねる市民センター機能の改革案を公表した。案によると、支所、公民館、地域自治、防災など市民センターが担う4機能のうち、支所統合は32年度で実施、地域自治、公民館、防災機能も移行期間を経て35年度で地元自主運営とする改革スケジュールを描いている。

モデル事業期間は29年度から31年度まで。32年度から34年度は、他の2機能の自主運営化作業が進められ35年度からは、市民センターは、地元の自主管理、運営となる。モデル事業で学んだこ

「記事を読んだよ」と伝えられることもあり、この新聞が日吉台の人々の生活に著々と根付きつつあることを実感しております。三日、三月、

三年」という言葉もあるように、三年目にあたる今年、日吉台新聞の継続力が試される年であると思っております。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

市は、市民センター機能改革のひとつ、公民館自主運営モデル事業を公表した。公民館、地域自治、防災など市民センターが担う4機能のうち、支所統合は32年度で実施、地域自治、公民館、防災機能も移行期間を経て35年度で地元自主運営とする改革スケジュールを描いている。

公民館自主運営モデル事業は、市民センター機能改革案の先駆事業。学区内の各種団体に公民館運営委員会（仮称）を組織してもらい、地域で事務員を雇用。雇用事務員は、週2回程度公民館に

にゆだねる市民センター機能の改革案を公表した。案によると、支所、公民館、地域自治、防災など市民センターが担う4機能のうち、支所統合は32年度で実施、地域自治、公民館、防災機能も移行期間を経て35年度で地元自主運営とする改革スケジュールを描いている。

モデル事業期間は29年度から31年度まで。32年度から34年度は、他の2機能の自主運営化作業が進められ35年度からは、市民センターは、地元の自主管理、運営となる。モデル事業で学んだこ

の雇用事務員は、将来、市民センターが地元移管されたさい、センター運営の指導役や事務方の責任を担うことになる。

市の意向確認は、各学区に対し29年度中にモデル事業に「参加する」か、「検討するため市の説明を希望する」かの考えを聞くもの。定例会では、市民センター改革案には反対や慎重意見が多かったことから、公民館自主運営モデル事業について当面は情報収集に留める姿勢をとり、「市からの説明を希望する」を回答、市内学区には、モデ

ル事業実施を強く要望しているところもあり、立場を明確にするため、「参加する」と回答した学区との説明会には同席しない、との条件をつけることにした。

1月6、7の両日、日吉台小で、新春風物詩「もちつき大会」と「どんど焼きまつり」が開催される。

もちつきは、6日午前10時、どんど焼きは、7日午前10時開会。

どんど焼きなど開催

1月6、7の両日、日吉台小で、新春風物詩「もちつき大会」と「どんど焼きまつり」が開催される。

もちつきは、6日午前10時、どんど焼きは、7日午前10時開会。



県美術教育研究会会長賞を受賞した黒井さんの作品

江若バスに乗ろうキャンペーン

日吉台小児童から再び標語募集

学区域まちづくり協議会は、住宅街を循環する江若バス利用促進を図るキャンペーン「もつと江若バスに乗ろう」で、今年も日吉台小に通う子どもたちからバス乗車促進標語を募集する。

子どもたちや父母らにバス問題への関心を高め、用促進を高めるのがねらい。同協議会では、昨年同小子どもたちからのバス標語キャンペーンを実施、標語を書いたのぼりを学区内のバス通りや主要箇所に掲示、地域住民や学校関係者から大きな

日吉台写生大会

黒井 爽陽さん



推薦・県美術教育研究会会長賞

黒井 爽陽さん

特選・高田智也さん、入選・吉田彩乃さん

日吉大社の美しい紅葉や数々の文化財の姿を描く「第50回日吉台写生大会」（毎日新聞社、毎日小学生新聞主催）作品展で、日吉台幼稚園児、黒井爽陽さんが推薦・県美術教育研究会会長賞を受賞した。

この作品展には、保育園、幼稚園、小学校、中学校、一般の各部門に617点の応募があり、推薦41点、特選50点、佳作30点、入選200点を選考。黒井さんが受賞したほか、日吉台幼稚園からは、特選に高田智也さん、

日吉台幼稚園児

日吉台幼稚園で作品展

入選に吉田彩乃さんが入った。表彰式は12月17日、日吉大社であり、推薦と特選の作品は、新春の1、3日、日吉大社樹下宮拝殿、同5、8日、大津市におの浜の西武大津店6階特設会場で展示される。

日吉台幼稚園児たちの作品展が11月24日から4日間の日程で、同幼稚園で開かれた。写真。園児たちが、遊びのなかから創造した絵や思いついたものをいろいろな材料や廃材を利用して形にしたもので、大人で考えられないようなおもしろい、奇抜で想像力たっぷりな作品が次々とあがった。

作品のひとつ「不思議な動物タウン」は、京都市動物園へ遠足に行った時の楽しかった思い出を表現したもの。それぞれお気に入りの動物を空箱などを使い、自分たちがイメージしたものを試した。

行錯誤しながら作品に仕上げたという。作品展について幼稚園では「子どもたちの遊び

のなかから生まれて来る表現は素直で素朴、既成の概念にとらわれない子どもらしい発想は、今まで生活経験を経たものからイメージを膨らませていく。子どもたちの自由な発想表現にさまざまな工夫が感じられる」と評価している。

反響をよびバス利用率向上に一役買った。しかしこののぼりは、今秋の台風21号の影響ですべて破損したため撤去、同小子どもたちから標語募集を再度行い改めて設置することになった。

標語は、2学期終わりに小学校で応募用紙を配布、3学期初めに回収する。上位入賞5人には、まちづくり協議会の賞品と日吉台新聞2月号で作品を紹介する。問い合わせはまちづくり協議会事務局長の村澤さん（090・4280・9541）。

ポイ捨てやめて!

住民らが街頭よびかけ



ごみ減量と資源再利用推進会議（会長、谷正男、大津市自治連合会長）の中北部ブロックは12月1日、買い物客でにぎわう坂本の平和堂坂本店前で「ノーポイ運動」の街頭啓発活動を行った。写真。県ごみの散乱防止に関する条例に定める12月1日の環境美化の日を行動基準日に、毎年、街頭啓発や駅や道路など美化清掃活動をしている。

「ごちそうさま」を宴席で



30 乾杯後、30分は自席で食事を楽しみましょう。
10 お開きの前の10分は自席に戻って食べ切りましょう。
食品ロス削減のため、宴席での料理を食べ切る運動にご協力。
ごみ減量と資源再利用推進会議・大津市

市自治連傘下の唐崎学区、下阪本学区、坂本学区、日吉台学区、雄琴学区、

区の中北部ブロックでは、雄琴学区が平和堂フレンチドマート雄琴店前で街頭啓発、唐崎学区は学区一円で清掃活動を実施、坂本、日吉台、下阪本の3学区は平和堂坂本店前での啓発活動になった。この日は、3学区から自治会役員、環境委員ら約11人が参加。参加者ら「あかねでポイ捨て!」ののぼりが立つ同店前街頭で、行き交う買い物客や家族連れらに「指定指定ゴミ袋」を配布、ゴミのポイ捨て防止を呼び掛けた。

やめよう 路上駐車

